

# 天下一新能

片山九郎右衛門 新能

## ◆演目紹介

### 能「井筒 いざつ」

出演 片山九郎右衛門 ほか

秋の夜、旅の僧は在原寺の廃墟を訪れ、かつてここに暮らしていた在原業平と紀有常の娘の夫婦の霊を弔っていました。そこに見知らぬ里の女が現れて古塚に花を手向けます。業平夫婦のゆかりの人かと、僧が尋ねると、里の女は幼馴染の二人が、いつも肩を並べてこの井戸に姿を映して愛を育み、やがて大人になって、お互いに歌を交換し初恋を交わしたのですと、二人の恋の物語を語り、私は紀有常の娘です、と言いつつ消えていきます。その夜も更け、眠りについた僧の夢の中に有常の娘の亡霊が現れ、業平への永遠の恋慕の舞を舞い、かつてのように井戸を覗き、自らの姿を映しながら業平の面影を追慕するのでした。

### 能「鞍馬天狗 くらまてんぐ」 出演 片山九郎右衛門 延岡のこどもたち ほか

春の鞍馬山は満開の桜で彩られていました。鞍馬寺東谷の僧が稚児たちとともに花見を楽しんでいます。そこに一人の山伏が乱入し花見の場に居座ります。これでは花見は台無しとばかり、東谷の僧は、稚児たちを連れて帰るのですが、一人の稚児がその場に残ります。この稚児こそが後に源義経となる牛若丸。牛若丸は山伏に近づき、一緒に桜を見ましょと声を掛けます。やさしさにほだされた山伏は、牛若丸に素性を尋ねると、自分の境遇を語ります。同情した山伏は、私は鞍馬に棲む大天狗だと名乗ります。そして、明日また会って、平家討伐の志を抱く牛若丸に兵法の奥義を伝授しようと告げると去っていきます。翌日、武装を整えた牛若丸が待っていると大天狗が現れ、兵法を伝授し将来の守護を誓うのでした。

### 狂言「千鳥 ちどり」

出演 茂山千五郎 ほか

ある日、家の主は太郎冠者を呼び出し、酒を買ってくるように命じます。しかし太郎冠者は「前の払いが終わってないのに、売ってはくれない」といいます。それでも主は「何がなんでも買ってこい」といい、うまく酒を手に入れたら、褒美をやると約束して太郎冠者を追い立てました。案の定、酒屋は前回の支払いが終わらなければ酒を渡せないといえます。思案した太郎冠者は酒屋が珍しいモノが好きだということを思い出し、その話をしているスキに酒をこぼらうことにしました。そして津島まつりで見た、こどもたちが籠をかぶせて千鳥を捕る様子を謡い踊ります。酒屋が嘸し立てると、今がチャンスとばかりに酒を取ろうとするのですが……

## ◆演者紹介

### 観世流能楽師シテ方 片山九郎右衛門 (かたやまくろうえもん)

観世流能楽師シテ方。1964年九世片山九郎右衛門＝故幽雪(人間国宝)の長男として生まれる。祖母は京舞井上流四世家元の故井上愛子(人間国宝)、姉は五世井上八千代(人間国宝)、幼少より父、長じて八世観世鎮之丞(人間国宝)に師事。のべおか天下一新能をはじめとして各地の能公演のプロデュースなどにも意欲的に取り組む。海外公演にも積極的に参加しており、のべおか天下一新能ドイツ公演を監修。1997年京都府文化賞奨励賞、2003年京都市芸術新人賞、2003年文化庁芸術祭新人賞、2007年日本伝統文化振興財団賞、2015年、芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。2008年から京都観世会会長、2011年に十世片山九郎右衛門を襲名。



### 大蔵流狂言師 茂山 千五郎 (しげやま せんごろう)

大蔵流狂言師狂言師。1972年十三世千五郎＝五世千作の長男として生まれる。祖父は四世千作(人間国宝)で祖父、父に師事。4歳の時に「以呂波」のシテにて初舞台。かつて「花形狂言会」「狂言小劇場」「TOPPA!」や若手能楽師による能楽グループ「心味の会」を主催し、狂言のみならず能楽のファン開拓にも力を注ぐ。現在は「茂山狂言会」、弟の茂との兄弟会「傳之会」、落語家桂よね吉との二人会「笑えない会」を主宰し幅広い年代層へ狂言の魅力を伝える。また上海京劇院・巖慶谷や川劇変面王・姜鵬とのコラボ公演など、他ジャンルとの共演も精力的に行う。2016年に十四世茂山千五郎を襲名。



## 内藤家旧蔵の能狂言面



宮崎県指定有形文化財となっている内藤家旧蔵の能狂言面は、江戸時代を通じて、領内の平和と繁栄を祈願するために毎年開催されていた神事能において使用されていたと考えられる能面です。桃山時代から江戸時代初期にかけて活躍し、技量に優れ、「天下一」の称号を授与された面打師たちによって作られた能面三十点を含む七十二点の能狂言面は、その質と量はもとより、城下町であった延岡の歴史と文化を彷彿とさせる貴重な歴史資料と言えます。

## 延岡のこどもたちも出演

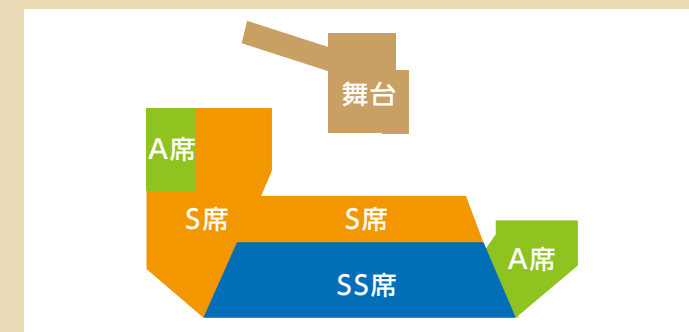


地元の子どもたちが日本を代表する出演者と共演するのも大きな特徴です。10年以上にわたって続けられており、地域の歴史文化を後世に繋ぐのはもちろん、日本を代表する伝統文化の継承にも大きな役割を果たしてきています。この公演の監修を務める片山九郎右衛門さんの発案で始められ、これまで子方として重要な役回りを演じるとともに、故片山幽雪さん(人間国宝)とも、連吟や舞等で共演、福岡市の博多座で行われた特別公演「鞍馬天狗」では野村萬斎さんと共演しました。今回で13回連続、15回目となる公演では、「鞍馬天狗」の牛若丸と東谷の稚児役を演じます。また公演の始まりには、「清経」「嵐山」「葛城」の3曲の仕舞も披露します。片山九郎右衛門さんが直接指導した延岡の「こども能楽プロジェクト」の熟演にもご注目ください。

### こども能楽プロジェクト 受講生募集

随時、このプロジェクトに参加するこどもたちを募集しています。次の出演者をめざすこどもたちを待っています。

## 座席配置図 席位置は変更になる場合があります



## 入場料

- ◆SS席(指定席).....10,000円
- ◆S席(指定席).....8,000円
- ◆A席(自由席).....5,000円

## 安心・安全な公演のためのお願ひ

今年も、安全・安心の公演を目指し、いくつかの新型コロナウイルス感染防止の対策を行います。事前にチケット半券へのお名前・連絡先の明記、入場口での検温・手指の消毒の徹底と場内でのマスク着用のご協力をお願いします。また、今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況では会場の変更や公演中止となることも想定されますことをご承知おください。

## 1 住所 (〒 - )

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

## 2 氏名

\_\_\_\_\_

## 3 電話番号

( ) - \_\_\_\_\_

## 4 ご希望のチケットの種類と枚数

席 \_\_\_\_\_ 枚 \_\_\_\_\_

いただいた個人情報は本新能に関する以外には使用いたしません。